



山口県本部版
 NO 281
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 山口県本部
 〒754-0004
 山口市小郡金堀町
 21番の1
 林洋武方
 電話&FAX
 083 (972) 3987

映画「わが青春つきるとも —— 伊藤千代子の生涯」完成

[写真は撮影終了報告記者会見・東京全労連会館 (1月18日)
 映画千代子情報より]

- ◆映画「伊藤千代子の生涯」が完成。4月15日から全国上映。
 山口県では5月下旬に山口市と下関市で上映を予定しています。山口市では2月23日原作者の藤田廣登さんを招き講演と映画の上映を成功させるための実行委員会を発足させます。
- ◆同盟県本部林洋武会長執筆「私の戦争体験記―昭和を生きて」が、山口民報1月23日号から連載が始まりました。随時掲載で三十回の予定です。
- ◆2月～3月は確定申告を通じて税学習を組織、4月は下松、萩、山口各市の議会議員選挙に取り組みます。
- ◆同盟県本部2月度役員会は21日(月)10時30分から共産党県委員会が開きます
- ◆国賠署名は1月末現在個人二〇三筆です。

最後の4・16被告 田熊真澄さんへ聞く

〈その10〉

田熊 ただ、私たちは獄外被告だったため公判には必ず出るこ
とができました。被告の家族な
ど傍聴希望は多かったので、
一般傍聴者は入れないといつも
不満でした。鍋山と三田村の奥
さんも傍聴に来ていましたがた
いへん派手な感じでほかの女性
とは雰囲気違っていました。
公判が閉廷したら産別のグルー
プが集まって協議をその度にし
ました。

法廷では前の方に獄内被告、
その後ろに私たち獄外被告が並
びました。被告があまりにも多
すぎたので被告もその都度公判
には出られなかったのです。被
告団と裁判所の交渉の結果、い
くつかのグループに分けられて
交代で出廷することになりました

た。また、十名の法廷委員が組

織され、こうした人たちは毎回

出ていました。佐野學、鍋山貞

親、市川正一、徳田球一、三田

村四郎、志賀義雄、国領五一郎、

杉浦啓一、河田賢治、高橋貞樹、

の十名でした。彼らが、公判闘

争をリードしていました。代表

陳述では、総論を佐野學、組織

を鍋山貞親、党史を市川正一が

やりました。三田村四郎は労働

運動をやりました。三田村は浜

松の日本楽器の指導者で有名で

した。ただ、かれは拳銃で警察

官を撃つたことがあります。その方も

問題になっていました。彼自身

は、党の方の役は重職ではない、

など自分で言っていました。

市川正一は、しゃべったこと

がそのまま文章になるような話

しぶりでした。とうとうと語る

というよりじつくりと話すとい

うタイプでした。私には少し硬

直的かなと思うような、相手に

対する厳しさがありました。

それに対して、鍋山はあちこ

ちに話が飛んで柔軟というか妥

協的というかそんな印象でした。

宮城裁判長も、佐野やとくに鍋

山の話は耳を傾けるそぶりをす

ることがありましたが、市川正

一にはそんなことはなく厳しく

当たりましたね。鍋山も佐野も

三田村のその後、転向(変節)

をするわけですが、しかし、そ

の時は大変な党幹部でしたから

そんな感想を言うわけにはいき

ませんでした。転向したからそ

う思ったわけでなく、法廷でそ

う感じました。非転向でがんば

り昭和十八年に獄死する国領五

一郎は関西弁まるだしでしゃべ

るのが印象的でした。

三田村が「労働運動でしゃべ

るので資料がほしい」というの

で、二回ほど市ヶ谷刑務所に差

し入れに行きました。彼はシャ

バ(外)のことを聞くより、私

たちにいろいろ教育することに
熱心のようにいろいろ話してく
れました。

大谷みつよさんのこと

私は大谷みつよさんと二人並
んで獄外被告として公判に参加
して、「あの人が市川正一とか佐
野學とか徳田球一」とか教えて
もらいました。大谷さんは党に
入っていて私より七つ上のお姉
さんでした。しかも、保釈にな
っても北海道旭川が郷里でした
が帰らないで、ずーと法廷闘争を
やっていましたから、私などよ
りはるかに詳しくいろいろな教
えてもらいました。

大谷みつよさんは、旭川市出
身、高等女学校の師範部を出て
小学校の先生をした後、上京し
て大正十三年東京市電自動車車
掌になりました。当時三一歳で
した。やはり四・一六事件で弾
圧され保釈中でした。

つづく